



理工学専攻都市基盤工学コースの大学院生が 地盤災害と建設工学に関する国際会議において優秀講演賞を受賞

【概要】

理工学専攻都市基盤工学コース 博士前期課程（EPGA）2年の三瀬 公博さんが、カナダで開催された地盤災害と建設工学に関する国際会議・ICGCE において優秀講演賞を受賞しました。

【本文】

2024年7月7日（日）から8日（月）にかけて、カナダ・オンタリオで開催された国際会議「地盤災害と建設工学に関する国際会議（International Conference on Geo-Disasters and Construction Engineering (ICGCE 2024)）」において、理工学専攻都市基盤工学コース 博士前期課程（EPGA）2年の三瀬 公博さん（主指導教員：日野 剛徳 教授）が優秀講演賞（Best Presentation Award）を受賞しました。

三瀬さんは理工学専攻博士前期課程の環境・エネルギー・健康科学グローバル教育プログラム（EPGA）に在籍し、英語のみの環境で学んでいます。1年生の夏季休業期間中には、大学間交流協定を締結しているインドネシアのハサヌディン大学へ約3か月間留学した経験があり、さらに同年10月にはタイのバンコクで開催された国際会議でプレゼンテーションと質疑応答を行いました。こうした経験を通じて、EPGAプログラムの学生として期待される研究業績を着実に積み上げてきています。

今回の国際会議では、三瀬さんは“Relationship Between the Distribution of Soil Properties and the Quality of Improved Columns Based on the Soil Structure in Saga Lowland”と題した修士研究の成果を発表し、プレゼンテーションと質疑応答の内容が高く評価され、優秀講演賞を受賞しました。

さらに、このプレゼンテーションの内容は、Springer Nature社の査読付き英文学術誌「Smart Construction and Sustainable Cities」（編集長：SHEN Shuilong 教授（中国・Shantou University））の特別号の収録にノミネートされており、現在、その採択を目指して論文執筆が進められています。



三瀬さんの発表の様子



主指導教員の日野剛徳教授（右）と記念撮影



優秀講演者賞の賞状